

## 第8期第3回 豊栄地区公民館運営審議会 会議録

---

日時： 令和4年7月22日（金） 午前10時～正午  
会場： 豊栄地区公民館 大講堂  
参加者： 豊栄地区公民館運営審議会委員 東委員、梅津委員、大原委員、神田委員、  
日下委員（議長）、倉島委員、栗原委員、  
土田委員（副議長）、マルシェフ委員、渡辺委員  
豊栄地区公民館 渡辺（館長）、立川（主任）、佐藤  
北地区公民館 岩本（館長）、風間  
傍聴人： 0名

---

### 1 開会

### 2 館長あいさつ

### 3 自己紹介

### 4 議 事

#### (1) 令和3年度事業報告、事業評価について

(事務局) 令和3年度 豊栄地区公民館事業報告・事業評価を報告

(日下議長) それでは只今の説明について、何かご意見やご質問がある方いらっしゃいませんか。

(栗原委員) 今言われた「己書体験講座」のことなのですが、今後増やすということはあるかどうか。私も抽選漏れになってしまったので、本当に興味があるのでお聞きしたい。それと新潟医療福祉大学の方が結構参加してくれているのですが、医療福祉大学の学生がどの程度関わっているのかお聞きしたい。

(立川主任) まず己書については、今年度は計画には入っていませんが、是非そのような要望を上げていただいて、コロナの状況にもよるのですが、会場が確保できて、講師も確保できれば、そのようなニーズにも対応していきたいと思います。ただパッと行ってパッとできるものではないので、その辺は慎重に行かなければいけないのですが、時代のニーズを把握しながら事業を組み立てていきたいと思っています。あと医療福祉大学の学生については、サタディキッズに協力いただいておりますが、ZOOMを利用したオンライン会議なども行い、コロナの状況を見ながら、学生が中心となり事業内容などを考えて、公民館と一緒に事業をやっていただきました。

(日下議長) ありがとうございます。他よろしいでしょうか。

(栗原委員) 医療福祉大学についてですが、令和4年度から、そのような事業に参加すると、授業ポイントか何かもらえるようになっていたように思うのですが、そのためには事前申し込みが必要だと思いますが、令和4年度についてはどうなっているのでしょうか。

(立川主任) 昨年度末に新潟医療福祉大学の方から「社会連携実践演習」みたいな形で、学生が区の事業に参加したりしたら、単位を取れるというか、単位のポイントになるというお話をいただき、このサタディキッズについてエントリーするかどうか内部で打ち合わせを行いました。実際には医療福祉大学の学生が事業を行った場合には、報償費が部活に対して支払われていることもあり、1年間様子を見ようということで、今年度の学生の意見も聞きながら、令和5年度以降どうしていくか検討中といったところです。

(日下議長) ありがとうございます。今の件について、渡辺委員にお分かりになる範囲で結構ですので説明をお願いしたいと思います。

(渡辺委員) 大学として北区に学生がお世話になっていて、地域で育てていただいているということは知っているのですが、実際にどの活動が単位につながるかみたいな細かいところまではわからないところです。ちょっとお答えにはなっていないのですが、「レクア・コム部」の活動が北区の様々な所で学生が活動させていただいていることは大変ありがたいなど、とても感謝しております。

(日下議長) ありがとうございます。他の何かご意見、ご質問がある方いらっしゃいますでしょうか。

(梅津委員) 私がよくわからないのは、家庭の教育力向上の支援事業の「ゆりかご学級」のところで、本当にコロナ禍の中で工夫されたりして大変だったと思うのですが、第1期、第2期、第4期があるのですが、第3期がないというのは、どういうことなのかなということと、あと北地区公民館の方では第3期だけで、第1期、第2期、第4期がないというのはどうなのか、説明があったのかもしれませんが、それを聞かせていただきたいというのが1点です。それと家庭の教育力向上の事業が全部終わってからで申し訳ないのですが、児童期の家庭教育学級がないというのはなぜなのかなと思いますので、そこら辺を教えていただきたいと思います。

(立川主任) 第3期の「ゆりかご学級」については、北区の中で第1期から第4期まで調整して行っており、第3期については、北地区公民館で実施しております。児童期の家庭教育学級についても同様で、北区の中で調整し、北地区公民館

が担当して行っている状況です。ただ、「ゆりかご学級」の方も令和4年度から検討事項が入ってきており、回数を減らすとか、コロナ禍の状況での開催のため、変更であったり、保育の状況が厳しくなったり、色々な状況が想定されますので、臨機応変に対応していこうと考えております。

(日下議長) ありがとうございます。他の何かご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。私からも1点よろしいでしょうか。先程10頁の事業報告の中でAの評価が出ているものが13番だったというお話があったのですが、理由は申込者数が多くて、それをカバーするために行った事業であったと。同じような状況かなと思ったのが、9番の「チャレンジキッズ教室」のイラスト教室もそれも申し込みが多くてというようなお話だったと思うのですが、この評価についてはBとなっておりまして、同じように聞こえるのだけれども、評価の分かれがあるのはなぜなんだろうというところを教えていただきたいです。

(立川主任) 「己書のリベンジ編」については単発的な事業で、募集が終わってから改めて行ったということで、前館長が評価したと思います。「チャレンジキッズ」に関しては、その申し込みがあふれる段階で、講師の先生にお伺いして枠を広げていただき、午前だけのものを午後もやっていただいたということでB評価になったとお伺いしております。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。

(東委員) 今の件で、その場で対応されたということですが、同じように対応されて新しい講座を作ってやられたということで、すごく良いことかなと思って、それこそA評価にした方が良いのではないかという気持ちはあるのですが、評価って変えられるものなのですか。

(立川主任) まだ、公表はされていませんので、運営審議会の意見を受けて、ホームページに載せる段階で変更することは可能かと思います。

(日下議長) その件について、ほかにご意見がある方いらっしゃいますでしょうか。もし、ないようであればA評価にしても良いのではないかという方は、拍手をお願いします。ありがとうございます。では、「チャレンジキッズ」の評価をAにしていきたいと運営委審議会としてお願いしたいと思います。他にご意見、ご質問ありませんでしょうか。

(土田委員) 少し気になったのがあって、5頁の己書(アクティブシニア講座)で講座終了後、受講者で活動されているのは、どういう感じで活動されているもの

なのでしょうか。

(立川主任) サークル化についてですけれども、令和3年度については、ゆりかご学級について、第2期と第4期でサークル化されております。アクティブシニアであれば、己書の講座では、参加者が「自分書」という形でサークルを作られ活動しています。ユースセミナーでは、「おいしいコーヒーとの出会い飲めなかった私がカフェを始めた話」でもサークル化され、4つのサークルが結成されました。己書のサークルの話は詳しくは聞いておりませんが、先生の方をお願いして何回か来ていただく形でサークル活動をしていると伺っております。

(日下議長) ありがとうございます。今ゆりかご学級の第2期と第4期も実はサークル化しているというお話があったと思うのですが、次からは是非サークル化されたものがあれば資料の方に載せていただけるとありがたいかなと思いました。他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

(梅津委員) 女性セミナーについてです。女性セミナーに来られている人の年齢層がどのような感じなのかなというのがひとつ。それから、先日発表されていましたがけれども、日本は男女格差が主要な先進国の中で最下位、中国とか韓国よりも低いのだということで、ちょっとこれは問題だぞと思っている事なのですが、そのようなことも無意識な偏見（アンコンシャスバイアス）のところで、そのような話が出ていたのかどうか教えてください。

(立川主任) 女性セミナーの参加者の年齢層ですが、20代が1人、30代が2人、40代が6人、50代が3人、70代が1人、合計で13人というふうに伺っています。男女格差とかジェンダーなどについては、梅津委員がおっしゃったことも取り入れながら実施していると聞いていますし、今年度も同様に取り入れていると聞いています。

(日下議長) ありがとうございます。ご意見ございますでしょうか。

(マルシェフ委員) 青少年の生き抜く力を育む事業の「茶道教室」とユースセミナーの「おいしいコーヒーとの出会い飲めなかった私がカフェを始めた話」と、どちらも実際にお茶やコーヒーを飲めなかったのですけれども、そのような状況でも開催して皆さんの学ぶ機会が作れたことは、コロナだから中止にするということではなく、できる形へ変更して開催したところがとても素晴らしいと思いました。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。それでは今までいただいたご意見をまとめると、運営審議会としましては、先程拍手を

いただきました事業評価について、3番の青少年の生き抜く力を育む事業のNO9「チャレンジキッズ教室Iイラスト教室」については、評価BではなくAに変更していただきたい旨の意見と、いただきました様々な意見を集約しまして、コロナ禍において工夫をしながら学生さんとZOOMなどを使って企画運営などを行っている点や、飲食ができない状況でもあきらめずに様々な事業を展開している点について評価できると意見したいと思います。また、館長の話にもありましたが、今後も市民ニーズを確かめながら対策をしながら実施していきたいというところに期待したいと思います。続いて、北地区公民館の方説明をお願いします。

(事務局) 令和3年度 北地区公民館事業報告・事業評価を報告

(日下議長) 北地区公民館ありがとうございました。只今の説明について、ご意見・ご質問ございませんか。

(栗原委員) 家庭の教育力向上の支援事業に対して、先程の豊栄地区公民館もそうなのですが、男性がほとんどいない。少し悲しいかなという部分があるのですが、高齢者の学習支援や社会参加支援事業の北地区公民館の「けん玉」と「ハシつくる」では男性がいる。今フレイルなど言われている中で社会参加型に持っていくのが良いと言われているが、男性が出てこれるようになるにはどうすればよいのか一点お聞きしたい。また、やはり子ども教育はお母さんばかりなのかなと、思うのは自分だけなのでしょうか。

(風間主査) 男性をいかに公民館事業に参加いただくかということだと思のですが、写真をよく見ると男性が参加している事業もありまして、「けん玉」などは男性の方の参加も多かったですし、キネマ松浜劇場などは、結構男性の方が参加したりしています。絵手紙は確かにほぼ女性の参加者になります。社会参加はフレイルでも大切な部分であるので、北地区公民館も講座を開設して、そのあとサークル化など継続して公民館に来ていただくように、毎年単年度事業を行っています。確かに継続して開催しているキネマ松浜劇場とかは、結構夫婦で来られたり、年配の方が多いですし、平日の午後開催ですので、作品によっては男性の方一人でも来られる方もいます。男性でも参加できるような企画を今後も考えていきたいと思っています。

(日下議長) ありがとうございました。他にご意見・ご質問ございませんでしょうか。

(倉島委員) コロナでやはり何をやっても参加がすくなかったとか、参加できないことが多くて大変だったのだろうと、豊栄もそうですし北地区もすごく感じました。北地区が折角協力員の方の協力で濁川や南浜でも同じように講座をやるようとしていたのが中止になってしまったのが、すごく残念だなと思った

んですけど、中々遠くへ出かけるというのは大変で、私も松浜から豊栄へ来るのも大変で、遠くへ行くのが大変だったりすることもあるので、公民館の方から出て行ってあげる。南浜でも濁川でも出てきてあげるとか、そういう講座や機会を増やす。あと前年中止になった部分は今年度またやるということはあるのでしょうか。

(風間主査) この後今年度の事業計画の方でも説明をいたしますが、いま、倉島委員が言われたように、濁川と南浜で北地区公民館活動協力員が、令和3年度企画した落語とマジックを濁川と南浜でやるという予定だったのですが、臨時休館と重なって中止となりました。今年の6月に活動協力員の企画会議を開いたのですが、3月に残念ながら濁川と南浜の「やよい寄席」が中止となったので、是非今年はやりたいということで今年の11月に開催を予定している所です。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見・ご質問ございませんでしょうか。

(梅津委員) 「けん玉体験教室」これを単年度で終わりにするというのは、何か理由があるのでしょうか。

(風間主査) 北地区公民館職員の数は5名であり、年間に実施できる公民館事業は限りがあるので、同じ方だけではなく、色々な方に来ていただくことも大切であることから、企画の内容を単年度開催にしております。理想を言えば、講座を受けた方がサークル化して引き続きその後も活動してもらえればいいのですが、残念ながら「けん玉」についてはサークル化されませんでした。色々な方に参加してもらいたいということで、企画も考えてやっているということで理解いただきたいと思います。

(日下議長) ありがとうございます。他にご意見などありますでしょうか。

(土田委員) 感じたことです。色々な企画の中で、成果のところ、具体的に受講生からの感想がわかりやすく、一つ一つの企画でどんなだったのか、こんな感じでしたのかを具体的にピックアップしていただいたので、わかりやすく良かったです。企画の一つの一休さんところで「君たちはミッションをクリアできるか」みたいな感じの見出しで子どもたちと一緒にやっていくものがあるんですけど、内容はわかりますでしょうか。

(風間主査) イベントのネーミングは結構大事でして、これは小学1年から6年まで対象の講座なのですが、まずはワクワク感、これは何をやるのだろうみたいなタイトル名にしました。この企画は北地区公民館の全館を使って主催事業を実施しました。大学生とこの企画はどのようにしようかと企画会議と一緒に

話し合っ、作り上げました。この事業のポイントは1年生から6年生まで幅が広いものですから、どうやってこのミッションをクリアできるようにさせることができるのかということでした。まずは、4つの部屋で4つの企画を考えました。実際やったのは、箱に遠い位置から新聞紙を丸めたボールをいくつ入れられるかとか、あと輪投げ体験、それもペットボトルを再利用して水を入れて倒れないようにして学年で距離を変えて輪投げをしました。それと学びも必要ということで、もう一つの部屋は松浜とか北区内の地図を置き、お宝マップで地元学みたいな、地図を見ながら北区の問題を作りました。これだったらどこにあるとか、果物だったら何がどこに有名なものがあるかとか。子どもたちだけでは、なかなか低学年だけではできないということで、新潟医療福祉大学レクアドットコム部の学生をグループに入れていっしょに回りました。小学1年から6年生の子どもが楽しみながら全ての部屋の体験をできるように工夫しました。4つ目は、ひらがな一文字が書かれたカードを部屋に何枚も隠しておきます。机の下だとか、カーテンの裏とか、まずカードを探して、カードを集めます。その集めた文字のカードで何個の言葉を作ることができるのかといったものです。そう言った形で、頭を使って答えを導くといったゲーム性を取り入れて、子どもたちがどんな単語を作るのかなど、小さい子どもたちが参加できるようにレクアドットコム部の学生さんに協力してもらって楽しめるようにしました。それとポイント制にして最後に、どこのチームが何点取ったとか、そんな感じでミッションをクリアしていくといった企画でやりました。部屋に入るまで、何をやるのか教えない感じで当日は臨みました。そのような企画だったこともあってか、定員はすぐに埋まりました。

(日下議長) 北地区公民館ありがとうございました。丁寧な説明で様子がよくわかりました。他にご意見、ご質問がある方はいますでしょうか。それでは、運営審議会といたしましては、北地区公民館に関しての今の質疑ですと、意見をするというよりも、様々な事業に関しての質問にお答えいただきました。色々な工夫をしているということをお教えいただき、企画を継続しない理由についても幅広い方々に来て欲しいからだという理由も教えていただきました。ネーミングのところであったり、企画運営のところも交流を生むような工夫。年代が幅広くてもみんなが楽しめるような工夫。様々な工夫があつて、事業が出来上がっているのだなということがよくわかりました。北地区公民館も豊栄地区公民館もそういった工夫を重ねながら、コロナの感染対策しているとなかなか思うように進まない点が多いと思いますが、事業を実施してほしいことを意見とさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。続きまして、次第の(2)令和4年度の事業計画について、新潟市公民館基本方針、豊栄地区公民館事業計画、北地区公民館事業計画と続けて説明をお願いします。

(2) 令和4年度事業計画について

(事務局) 令和4年度 新潟市公民館事業の基本方針、豊栄地区公民館、北地区公民館事業計画を説明

(日下議長) ありがとうございます。只今の説明に対してご意見・ご質問がございませんでしょうか。

(栗原委員) 先程の3年度の説明のところでもあったのですが、職員がいなくて新しい事業に取り組めないというような、ニュアンスで取ったのですが、今後これだけの事業をしようとするのと職員数が足りないのかどうか。率直な話でお聞かせください。

(立川主任) 豊栄地区公民館の方なのですが、私も3年前にこちらの方に異動になってきて驚いたのは、非常に豊栄地区は文化に力を入れている地域で、実行委員会を組織した事業が非常に多いのに驚きました。豊栄大民謡流し、市民茶会、公民館まつり、北区展などなど、実行委員会を組織している事業が多いと。それは、豊栄市時代に職員が十何人いた時のものがそのまま引き継がれてきているように思います。それが悪い言い方をすれば負担にはなっているような部分もあります。実際豊栄地区公民館については、この4月に1名早期退職をされまして、その補充が来る予定だったのですが、市全体での早期退職者がとても多く、臨時職員で穴埋めしようと募集してもなかなか集まらなかったような事情もございます。ですから今現在では、これ以上事業を増やすということは、なかなか厳しい状況です。ただ会計年度職員の方も長く勤められている方もいますので、その辺と調整しながらコロナ禍でもありますが、やれることをやっていく形しかないのかなと思っています。

(岩本館長) 北地区公民館ですけれども、私も今年2年目で、昨年異動してきました。平成30年度までは館長が再任用、正職員が2人、会計年度職員2人の体制でした。令和元年度からは、正職員が1人減った状態になりまして、その事務的補助ということで、会計年度職員が配置されており、実質やりくりの中では厳しい状況です。人員要求はさせてはもらっているのですが、簡単に配置される状況ではないです。北地区公民館の事業は、多少減っている状態で行っているのが実態かなと思います。

(日下議長) ありがとうございます。併せて私の方からも質問させていただきたいと思います。今程、事業報告と事業計画から事業が減っているというのは感じていたところです。今の人員の説明で、なるほどと腑に落ちるといえるのか、致し方ない部分があるのだなという感想を持ちました。そこで、公民館では、活動協力員という人たちがいらっしゃると思いますが、その人たちの活動の

様子であったり人数であったりを教えていただきたいと思います。

(立川主任) 豊栄地区公民館の活動協力員は7名だと思いますが、任期が2年で3期までという制約があります。今現在は、ゆりかご学級をご協力いただいている方とサタディキッズに協力していただく方、ということで活動協力していただいております。

(岩本館長) 北地区公民館の活動協力員は、7名です。そんな中で、任期などは同じですが、公民館の事業にお手伝いできますかとお声かけするなかで来てもらったり、活動協力員で企画の案件を考えていただいているような状況でございます。

(日下議長) ありがとうございます。よくわかりました。何かほかにご意見、ご質問がある方いらっしゃいますか。

(大原委員) もしお願いできればというところで、北地区公民館の9頁で児童期家庭教育学級、とても趣旨を拝見して、今の小学生・中学生は、電子ゲームやSNSの弊害等がかなり来ているので、期日は2月、内容が未定ですので、もしお願いできれば、SNSのことを取り上げていただければありがたいなと思います。よろしくをお願いします。

(風間主査) 提案ありがとうございます。北地区公民館の方もどういった形で児童期の内容をやるかは、これからなんですけども、今の委員さんからお話、SNSの弊害については、色々な要因があるとは思いますが、その辺も含めて考えて行ければと思っています。

(日下議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(神田委員) 公民館の方で様々な事業を、広く一般の方向けにも開催していただいているのですが、内容を定める時というのは、どのような形で決められているのか。あと一般的に興味のあることとか、一人ひとり違っていると思うんですけど、一般市民がそういう声を上げる機会の場合とか、どのようにすればそのような機会を与えてもらえるのかお聞きしたい。

(渡辺館長) 一例になってしまうのですが、今年計画している市民大学講座を例にあげますと、どういったテーマでやろうかなという構想はありましたけども、その機会に自治協議会の方から、すごくいいタイミングと言いますかご意見がありました。地域で新潟医療福祉大学の先生をお招きして、何かの講座をしたいのだけれども、中々経費が掛かったりして困っているというご意見をいただきました。自治協議会では正解は出ませんでした。そのあと委員の

方からお伺いして、例えばどのようなテーマが地域で求められていますか、とお話をお聞きしましたところ、これぞというのはなかったのですが、例えば認知症のことだったら興味がある人が多いかなというところで、その後医療福祉大学の教授と話を進めさせていただき、現在2人の先生から認知症をテーマにした講座を練っている所です。このようにタイミングよく声が届くということは少ないかもしれませんが、職員の方で常にアンテナを張ったり、小さな声を拾ったりしてテーマに繋げるようにしています。

(立川主任) 色々な方との会話の中から、この前うちの館長の方にもあったのですが、高齢者の方のスマホの利用が増えているというお話があって、それに対する講座ができないかということで考えています。ですから利用者の方から、こういうのはどうですかみたいな提案があって今考えているものもございます。ただ、子ども教室もので、レクア、コム部のものは、学生と一緒に考えてたりテーマを決めていくのもあります。様々な形でテーマを決めています。神田委員が言われるように、内容を決める時には職員や色々な方の話の中でテーマを決めています。豊栄地区公民館については、実際に集まって市民の方に意見を聞く場を設けることないような状況です。

(風間主査) 実際に直接市民から意見を吸い上げるというのはなかなかないですけど、その代わりとして、活動協力員の方は、北地区公民館の場合は学生が2人、働いている方が2人、退職されている方が3名いらっしゃるの、企画会議で一般市民の方の代表という形でやっていたりします。あとは先程の一休さんや地域スタッフの方にも考えていただいたりしていますし、映画の上映も企画委員さんは一般の方ですので、映画の選定もしていただいております。そういった意味では、できる限り公民館主導ではなくて、色々な方の意見で企画を練るようにはしています。

(日下議長) ありがとうございます。その他ご意見ございませんでしょうか。

(梅津委員) 文科省も教育ビジョンも生きる力から生き抜く力へ変わっています。先程大原委員がおっしゃられたSNS、その児童期の家庭教育学級に期待したいところなのです。昨年も家庭教育の保護者への対応について、話をさせていただいたのですが、これからの社会を担っていかなければいけない子供たちが、本当にたくましく育ってきているのか。いつも？マークなのですが、それはやはり親の役割が大きい。私は最近ボランティアで学校に出かけていくのですが、やはり親が子どもを育てる大人として成長できていないと感じることが多々あるのです。だから親が子を育てる大人として、成長していくために私は社会教育、公民館ってところがとても大事な教育の場であるのだらうなと思っているので、ぜひ児童期の家庭教育学級これを1回でも、2回でも3回でも松浜だけではなく、豊栄の人達が松浜の方へ沢山参加でき

るようにしてほしいなと思っています。そんな所で公民館の事業として親の教室の場であるという辺をもう1回考えていただいて、来年度の事業に反映していただきたいなと思っております。

(日下議長) 梅津委員ありがとうございました。その点について、私も思うところがございまして、先程あった豊栄地区の方も資料の11頁、基本方針のところ(2)学・社・民の融合による地域の教育力の向上ということがうたわれております。私は南浜小学校のコーディネーターなのですが、5年位前までは、子どもの教育活動の中で公民館と連携して行う事業がいくつかございました。ただ、現在においては、それぞれの公民館が所轄している小学校に均等になるにはどうしたらよいかだったりする前に、小学校の規模が違う、学年はそれぞれといったところで、中学校の松浜のガイド以外に、小学校と連携している事業が見当たらないなと感じております。実際、教育活動と公民館と連携するのは難しいところがあると実感しているところなのですが。こういった親の教育力を上げる講演会という意味では、小学校の規模が小規模だったり、大規模だったりしてもあまり問題なく実施できるのではないかなと、実際には教育活動ではPTAと連携するような形でなるのかなと、そちらの方が実施しやすいのかなという思いがありまして、PTAの方が児童数の減少で負担感が増してございまして、講演会を企画するといったところが、中々独自に実施できていないような現状もありまして、もしうまくいけば、折角行う児童期の家庭教育学級の方に、参加者が少ないという公民館の困りごと、学校の方としては、ぜひご家庭の教育力をあげていきたいところと、PTAとして何とかしたいと思ってもお金がないなどだったり、人を動かすところだったりがかかるところをカバーできるからいいかなと思っていたところ、いま梅津委員の話があったので、私の方も一言言わせていただきました。ご検討いただけると嬉しいです。他に何かございますか。

(栗原委員) 反対ではありませんけど、梅津委員が言うように確かに親の問題が非常に大切ななと思います。私らの時代は、先生は先生様でしたね。先生の言うことは絶対でしたね。親に言ったところで、お前が悪いことをするから怒られると言われるような時代に育った人間です。今の子どもたちはそうではない。そのことを公民館事業でやるというのは、キャパが大きいような感じがしてならない。もっと別な方法で、何か親の教育という言葉が変なのだけでも、何か設けたらいいのかなと思います。今は親が子供に言えるような時代ではなくなっている。この前食事に行ったとき、親子でスマホを見ていて会話もなくスマホの画面を見て情報を見ている。食事の時は延々と食べる。食事の合間でまたスマホをいじっている。唯一の会話ができる時にそういうふうになっている親が多い。逆にゲームがあって、うるさいからゲームをやらせようという親もいる。それでいいのかと本当に基本的なことなのですがと思います。これを本当に公民館事業でやろうとすると大変だなと思います。だから

先程言ったように、父親が来て、自分の子どもの様子がわからない父親がいっぱいいる。お母さんは間違いないですよ。絶対なのです。父親は自分の子どもが実際どんな行動しているかわからない親がいっぱいいる。自分が忙しいものだから、ゲームを預けて子どもを遊ばせている親は本当に多くいます。唯一のチャンスなのにと・・・父親は小学校6年までは子どもに付き合えるという持論を持っているのですが、中学になると父親は二の次になるのです。すべてお母さんが主導権を握ると思っている人間なので、本当に今の親を見るとちょっと大変かなと思います。それがまた親になるわけではないですか、そうすると痛みがわからない。今はナイフ預けると指を切るんじゃないとナイフを取り上げる、指を切らないとわからない。人を刺すとかは、やっちゃいけないことはわかるわけなので、公民館事業でやるのは難しいと思います。もっと親の教育をした方がいいのと思いました。

(日 下 議 長) 栗原委員ありがとうございました。直接公民館に話がなくとも、家庭環境を取り巻く不安に関してご意見だったのかなと思います。他に何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

(東 委 員) 昨年もこの話をしたと思いますが、今大学生と連携して事業はあるのですが、中学校・高校生が関わる事業は、松浜中のガイドひとつだけなのでね。小さい頃から公民館を利用して、その子たちが継続的にボランティアなどで関わって、大人になったら自分たちがサークル化できるような活動になっていけばいいなと思っているのですが、結局プツッと切れちゃうのが問題かなと思っています。また、来年度から部活動の地域移行というのがあって、実際中学校で部活している人たちがまた切れてしまうのですよ。学校とは別のところで、公民館の役割ってそういうところではないのかなと実は思っています。地域で困っている実態をどう繋げていくかというか、いまスポーツ団体が活躍されている方だったり、どう繋げていくか公民館の役割のかなと勝手に思っていて、すごく大きなことなのですが、そこをやっていかないと結局利用者は減っていくし、繋がっていく人たちも少なくなっていくことが気になっています。すごく良い活動をされているのですが、プツッと切れてしまうことを改善できないかなと、PTAと連携したりして継続的に継続的にできるような活動になっていくといいと思っています。

(日 下 議 長) 貴重なご意見ありがとうございました。他にご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。それではここで事業計画については終わります。その他事務局の方から話がありますでしょうか。

(事 務 局) 豊栄地区公民館工作室について説明

(日 下 議 長) ありがとうございました。今のお話ついて何かございますでしょうか。

(神田委員) 工作室を葛塚コミュニティセンターへ移転していただきありがとうございました。実際に4月から工作室を利用しているのですが、使用してから初めて気づいたのですが、職員の方々にもお話をしてお話をしてお話をしていたところですが、音の問題で下の階に響くみたいで苦情がきました。私たちの方も気をつけながら利用し、職員の方も机の下に緩衝材を入れたりして対応いただいているのですが、実際に他の方が下に行ってみて確認すると音がまだに響くみたいで、特別なことをしているわけではなく、気をつけているのにそれでも苦情がきているというのが今の状況です。だから非常にここを使わせていただいていることはありがたいことですが、助かっているのですが、音の問題は今後の課題になっているのかと思います。

(立川主任) オープンしてすぐだったと思いますが、下の階が和室ということで、その部屋に音が響くということでコミュニティセンター連絡をいただきました。そんなことはないだろうと我々も確認させていただきましたが、実際には粘土をこねる時に机にたたきつけると相当音が響くということで、できるだけこねる機械を使っていたり、音が出ないように手でこねていただくよう貼紙を張ったりして利用団体をお願いしております。そのようなお願いをしてから、それ以降はこちらの方には音がするなどの話は来ておりません。色々調べたのですが、構造上、鉄筋コンクリートではなく、鉄骨造りということで、隙間があったりするとどうしても音が響くのかなと思っております。今後1年検査とかあれば、建物を所管する地域総務課の方へもお話しながら改善できれば改善したいと思っております。

(日下議長) ありがとうございました。他に何かございませんでしょうか。以上で本日予定されていた議題の審議が全て終了いたしました。進行を事務局にお返しいたします。

(事務局) 長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。本日お配りしました封筒ですが、次回の運営審議会の日程調整の用紙が入っております。ご面倒でも8月10日(水)までに事務局の方へFAX・メール等でお知らせいただきたいと思います。調整後、日程を改めてお知らせいたします。渡辺館長より、今後の運営審議会について説明をお願いします。

(渡辺館長) 現在、新潟市教育委員会、市全体でも「運営審議会」の意義や今後の方向性、組織編制について、見直し、検討する方向にあり、情報提供させていただきます。まだ検討前の段階であり、資料等もありませんが、ご意見をいただく際には、ご案内をさしあげたいと思います。具体的には8区にそれぞれある運営審議会を一つにするとか、それ以外の方法が検討されるかわかりませんが、あり方について率直なご意見等ありましたら、私の方までお聞かせいただければと存じます。

(事務局) それでは、以上をもちまして第8期第3回豊栄地区公民館運営審議会を終了します。大変お疲れ様でした。